



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻
第11号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻第11号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1980, 26(11): 1468-1468

ISSUE DATE:

1980-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122756>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 26 巻 第 11 号

1980年11月

- 急性腎不全の予後に関する臨床的検討 第1報: 急性腎不全の予後決定因子と予後からみた急性腎不全の分類について.....村山 鉄郎...1335
- 急性腎不全の予後に関する臨床的検討 第2報: 急性腎不全救命例における腎機能遠隔予後について.....村山 鉄郎...1345
- 逆行性尿道抵抗に関する実験的研究.....由良 守司...1365
- 腎盂尿管静脈瘤のX線診断.....山田 龍作・ほか...1373
- いわゆる特発性腎出血に關する免疫学的研究.....細川 進一・友吉 唯夫...1379
- 悪性嚢丸腫瘍の肺転移ならびに悪性膀胱腫瘍に対する SSM-vaccine による免疫療法(英文).....生亀 芳雄・小川 秀彌...1383
- X線学的に診断された非外傷性腎被膜下血腫の1例.....川口 光平...1391
- 気腫性腎盂腎炎の2例.....井関 達男・ほか...1399
- 尿管精囊腺開口の1例.....中嶋 久雄・ほか...1405
- Pelvic lipomatosis について 一報告症例の経過と文献的観察.....徳原 正洋・ほか...1415
- 嚢丸欠損症の12例.....中嶋 和喜・ほか...1423
- 消化器癌を原発とする転移性精索一副嚢丸腫瘍の2例.....瀬口 利信・ほか...1427
- 陰茎亀頭, 体部間包皮結合索の1例.....朴 勺・友吉 唯夫...1435
- 表在性膀胱腫瘍に対する Carboquone と Cytosine Arabinoside の併用注入療法の臨床的效果について.....小川 肇・ほか...1437
- 頻尿・尿失禁に対するブラダロン(flavoxate hydrochloride)の臨床効果.....近藤 厚生・ほか...1449
- 前立腺肥大症に伴う排尿障害に対するL-グルタミン酸・L-アラニン・アミノ酢酸混合製剤の臨床効果.....島崎 淳・ほか...1453
- 尿路感染症に対する Viccillin-S 錠の使用経験.....池田 直昭・織田 孝英...1463

Clinical Studies Concerning the Prognosis of Acute Renal Failure

- Part 1. Factors Influencing the Prognosis of Acute Renal Failure and Proposal on New Classification of Acute Renal Failure Anticipating Its Prognosis.....T. Murayama...1335

Clinical Studies Concerning the Prognosis of Acute Renal Failure

- Part 2. Long-Term Prognosis of the Renal Function Following Acute Renal Failure.....T. Murayama...1345

Experimental Studies on Retrograde Urethral Resistance.....M. Yura...1365

Radiodiagnosis of Ureteral Varix.....R. Yamada et al...1373

Immunological Studies on So-Called Essential Renal Bleeding.....S. Hosokawa and T. Tomoyoshi...1379

Immunotherapy of Metastatic Lung and Malignant Bladder Tumor with SSM-Vaccine.....Y. Iki and H. Ogawa...1383

A Case of Nontraumatic Renal Subcapsular Hematoma Diagnosed Roentgenologically.....K. Kawaguchi...1391

Emphysematous Pyelonephritis: Report of Two Cases.....T. Iseki et al...1399

Ectopic Urethral Opening into the Seminal Vesicle: Report of a Case.....K. Nakajima et al...1405

Pelvic Lipomatosis: A Review.....M. Tokuhara et al...1415

Absence of Testes: 11 Cases of Monorchism and 1 Case of Anorchism.....K. Nakajima et al...1423

Metastatic Tumors of the Spermatic Cord and the Epididymis from Gastrointestinal Cancers: Report of Two Cases.....T. Seguchi et al...1427

Prepuce Skin Bridge Formation Between Glans and Body of the Phallus: Report of a Case.....K. Pak and T. Tomoyoshi...1435

Clinical Effect of Intravesical Instillation with Carboquone and Cytosine Arabinoside to Superficial Bladder Tumors.....H. Ogawa et al...1437

Effect of Flavoxate Hydrochloride on Frequency, Urgency and Urinary Incontinence.....A. Kondo et al...1449

Clinical Effects of L-Glutamic Acid, L-Alanine and Aminoacetic Acid Mixtures on Benign Prostatic Hypertrophy.....J. Shimazaki et al...1453

A Clinical Experience with Viccillin-S in Urinary Tract Infection.....N. Ikeda and T. Oda...1463

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

到着後1ヶ月間

編 集 後 記

限られた時間で、分りやすく話をするのは難しい。学会での発表を聴いて、つくづくそう思う。筆者自身、いろいろな学会発表を想い出すと、顔の赤くなる思いがする。

鶴見俊輔氏の近著「文章心得帖」（潮出版社）に、まともな文章であるための3つの条件として、第1は誠実さ——他人の声でしゃべるのではなく、自分の肉声でしゃべるように文章を書け。第2は明晰さ——そこで使われている言葉を、それはどういう意味かと問われたら、すぐに説明できなければならない。第3はわかりやすさ——読者にたいして、また読者としての自分にたいして………、といったことが書かれてあった。

この本を読んだのが、たまたま学会出席のための車中であったせいもあるだろうが、これは学会発表にそのままあてはまらと思った。「誠実さ」、「明晰さ」、「わかりやすさ」。

そこで自分の経験を思い出して、顔の赤くなる思いがしたという次第。

(O. Y.)

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と5,000円（送料とも）前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規（1969年1月改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。稿訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, ℃, μ, %, PHなどを使用し、は不要です。またBDN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol.数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第26巻 第11号	1980年11月25日 印刷	1980年11月30日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500円(送料別)
〒606 京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室 電話(075)751-3327(直通)		
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入	
